

公開保育による施設関係者評価

日 時 令和6年2月20日（火） 午前9時30分～午前12時

会 場 認定こども園みのり

内 容 各園の職員に対して公開保育を行い、当園の評価をして頂く。
案内形式ではなく、それぞれ分かれてクラスに入り、保育観察を2時間程度して頂く。
施設関係者に評価を行って頂き、評価をまとめて頂く

ねらい 「保育者が適切に関わったり、見守ったりしながら豊かな遊びへと導いているか」
をねらいとし、年齢に応じた実践を主眼とおく

評価者 あさひこども園（園長、主幹保育教諭）
志津保育園（園長、乳児専門リーダー、幼児専門リーダー）
星の子保育園（園長、副主幹保育教諭）
事務局（みのり職員1名）

評 価 みのりを見学し、それぞれの年齢（発達）に合った環境の中、保育者が適切に関わることで子どもたち一人ひとりが安心して生活し、主体的に活動している様子が印象的であった。子どもや保育者が多い中、保育者が子どもの幸せを一番に考えて同じ方向を向き、保育されている姿に学ぶ点がたくさんあった。保育者が自分の得意分野を生かし、子どもたちと一緒に遊びを楽しむ中で様々な経験や学びが生まれていた。その様子を実際に見学することで自分には何ができるか考える良い機会となった。子どもたちの興味関心が遊びや活動に繋がり、持続して発展する保育は素晴らしかった。

主体性を大切に保育する中にもルールや約束事があり、それが子どもにも保育者にもしっかり周知されていることで、保育者が常にいない状況の部屋があったが危険や怪我に繋がらないのだと感じた。危険を取り除くのではなく、子どもたち自身が危機管理をする力を育てられるのだと学び、見習いたいところであった。

また、年齢ごとに「育てたい10の姿」を写真とともに分かりやすく掲示しており、保護者の方と共通理解しながら保育がされている様子も参考になり、自園でも取り入れていきたい課題となった。

給食室とも連携し、給食室の職員が食育や発達理解の視点から保育に入られることもあった伺い、自園にはない良い取り組みだと感じた。

今回の見学で学んだことを職員間で共有し、自分の保育を見つめ直したり、自園ならではの保育をより良いものにするために役立てていきたい。

総 評 本年度はコロナによる制限がなくなり、子ども達の生活や遊びはコロナ前と同様に戻すことができた。一人ひとりの興味関心、発達に応じて遊びが楽しいが持続できるよう展開をしているが、その中でも集団での遊びやルールをどのように知らせていくかが日々の課題である。子どもが将来自分の身は自分で守ることができるよう、危険を察知できる力も保育の中で様々な経験や体験を積み育て、また一人ひとり子どもの保育や遊びが展開できる保育者の言葉がけなど研修等を通して、向上できるようにしていきたい。また、公開保育を通して様々な意見をいただくことで、気づけなかったことが気づけることがあるので来年度も公開保育を行いたい

結 果 当園のホームページに掲載する